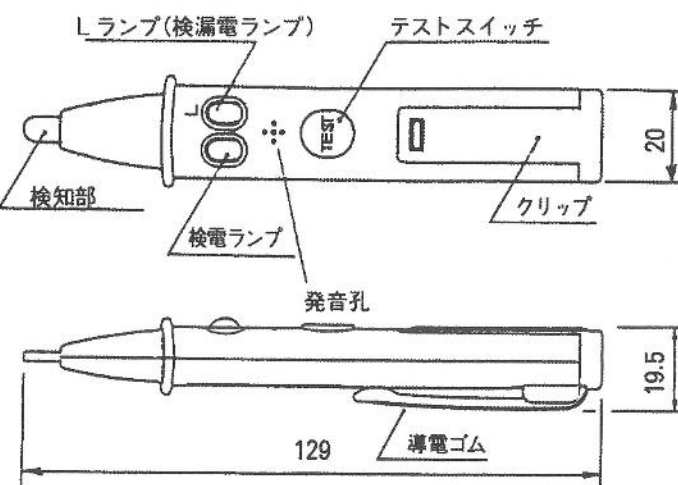


1. 定格および仕様

型 式	LV-1 (低圧交流専用)
使用電圧範囲	被覆電線: AC50~600V(50/60Hz共用) 裸 端 子: AC0~300V(50/60Hz共用) (但し対地電圧とする)
絶縁抵抗	検知部とクリップ間 DC500Vメガにて 10MΩ以上
絶縁耐力	同上間 AC1500V 1分間
動作開始電圧 (対地電圧)	動作感度可変式 出荷時の調整値: AC40V 被覆電線(IV 2mm ²)に検知部を接触した状態にて
絶縁劣化 判 定 値	人体に流れる電流が10μA以上の 時、Lランプが点灯
動作表示	発光: 検電、Lランプ共赤色断続発光 発音: 検電時、断続鳴動
使用電池	アルカリボタン電池 LR-44 2個 電池寿命: 放置状態で6ヶ月
使用温度範囲	0℃~40℃

2. 外形構造



(注) 改良のため仕様を予告なく変更することがあります。

マルチ計測器株式会社

〒101-0025 東京都千代田区神田佐久間町一丁目26番

秋葉原村井ビル7F

TEL 03-3251-7013 (代)

■ 使用方法

●はじめに (本器は検電と感電チェックでは、握り方が違います。図に従い正しく使用してください。)

(検電の場合)

(導電ゴムに触れないよう側面を握る)

(感電チェックの場合)

(導電ゴムを握る)

● 検電前に

1. 外観・構造に異常が無い点検してください。
2. テストスイッチを押し、動作(発光、発音)を確かめます。発音、発光が弱い時は電池を取り替えてください。
3. 「テスト」は、電池等のチェックで検電器の試験ではありませんので既知の電源で動作を確かめてください。(使用前点検)
4. 使用状態に合った感度になっていることを確かめてください。(感度調整を参照)
5. クリップが確実にセットしてあるかを確かめてください。

● 検 電

1. クリップをしっかり握り、対象電路に検知部を正しく接触させて検電を行います。



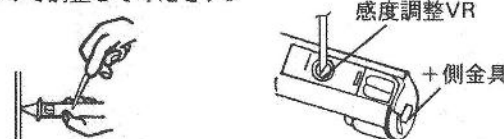
被覆電線の上から検電するときは、検知部を十分に電線上に当てないと、心線と検知部との静電容量が変わり動作感度が鈍くなります。

■ 検電時の注意

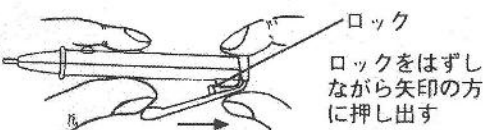
1. 本器は低圧用です。AC600Vを超える高压電路には、危険ですので使用しないでください。尚、裸端子の場合は対地電圧でAC300V以上には使用しないでください。
2. 高压の近く(2m以内)では、動作状態になることがあります。又、感度が鋭敏になっている場合、静電気で動作する場合があります。
3. AC100V-2線、AC200V-3線の内の1線は、普通接地(アース)されていますので、その線に対しては動作しません。電路の充電の有無は2線、又は3線の各々を検電してください。使用状態に合った感度になっていない場合、接地相でも動作する場合がありますので、注意してください。
4. シャーペイされている電線は、検電できません。また接地されていない金属管、ケースなどは誘導電圧で動作することがあります。雨中は危険ですので使用しないでください。

■ 感度調整

1. クリップを外し、検知部を被覆電線に当て、感度調整VRを小型ドライバーで調整します。
2. 右回り(HV)で鋭敏に、左回り(LV)で鈍感になります。
3. 感度は被測定電線の種類により異なります。使用する電圧電線と同じもので調整してください。



■ クリップの外し方



- クリップを差し込む時は、下側ロックから差し込み、「カチッ」と音がするまで差し込んでください。

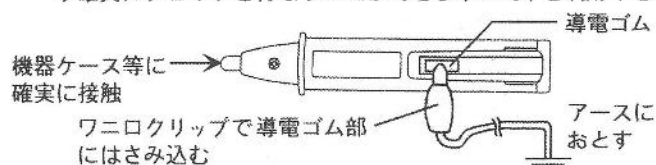
取扱説明書

● 検漏電部(感電チェック)の動作

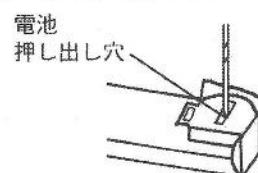
接地されていない金属管、機器ケースなどは、誘導電圧が印加されている場合があります。この場合は人間が触っても感電はしませんが、機器の絶縁劣化により、電圧が印加されている所を人間が触った場合、感電に至ります。本器の検漏電ランプ(Lランプ)は、検知部をフレームに接触させ、人体を流れる電流が10μA以上の場合ランプを点灯させることにより危険をお知らせします。

■ 検漏電時の注意

1. 本器は人体を流れる電流を検出し、Lランプが点灯します。履いている靴が絶縁靴の場合、Lランプが点灯しない場合があります。
2. 絶縁靴を履いていて、Lランプが点灯しない状態で、壁とか床を手で触れた場合、対象物が絶縁劣化している場合、Lランプは点灯します。
3. Lランプが点灯した対象物を素手等で触ると、感電しますので注意してください。
4. AC200V電路又はAC440V電路の裸端子を検電した場合、Lランプは動作する時がありますが、異常ではありません。接地相ではLランプは点灯しません。
5. クリップ部の導電ゴムは、内部の電池+側に接触しています。接触していない場合、Lランプは動作しませんので、クリップの装てんは、確実にこなしてください。
6. 検漏電部は、検電ランプが動作してから動作状態となりますので、対象物には5秒以上確実に接触してください。
7. 検漏電部は、人体の絶縁状態によっては絶縁劣化の判定が難しい場合があります。付属のワニ口クリップを使用することにより、より確実にチェックを行なうことができますので、ご利用ください。



■ 電池交換方法



- クリップを外し、電池を押し出し穴よりドライバー等で押し出します。
- ⊕⊖の極性を確かめて、2個共取り替えます。本器の消費電流は感度調整VRをL側にした時に小さくなります。保存の際はL側にしておいて下さい。

■ 保守・保管時の注意

- 水に濡れると故障の原因となります。
- 夏期に路上に放置したり、自動車の中など高温になる場所には、置かないでください。
- 直射日光の当たらない屋内の乾燥した所に保管してください。
- 長時間使用しない場合は、電池をはずして保管してください。
- 300~600Vの電路で使用される場合、半年に1度定期自主点検を実施してください。

⚠ 警 告

- 使用前に必ず既知の電源でチェックしてください。テストスイッチによるチェックのみでは不十分です。
- 動作感度を確かめてから使用してください。誤作動、不動作のおそれがあります。
- 高電圧(600V以上)には使用しないでください。感電のおそれがあります。
- 検電を行なう場合、フィンガーガードより先は握らないでください。感電のおそれがあります。